

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	公共用地先行取得事業	所管部局	土木部

1	所管室課	地域整備推進室	事業名	千里丘朝日が丘線用地取得事業			
事業概要							
千里丘朝日が丘線用地取得							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
令和5年度は、用地先行取得及び物件補償を実施。 (取得面積) 令和3年度 1.51㎡ 令和4年度 58.76㎡ 令和5年度 327.32㎡		決算額 (千円)	22,540	174,597	247,461	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	<input type="checkbox"/> 有効性 ■ 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		・円滑な事業推進のため、地権者との合意形成を図り、計画的に任意交渉による用地取得を進めていく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源 の 比率(%)				<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
地域整備推進室	元金償還事業		
地域整備推進室	利子償還事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

1	所管室課	道路室	事業名	道路台帳等整備事業		
事業概要 路線調書更新、市道認定・廃止、用地図面作成、官民境界等先行型地籍調査推進						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 路線調書更新 道路の認定、廃止等に合わせ道路台帳の調製を行った。 令和5年度：認定路線本数 16本、延長 1,874.3m 廃止路線本数 2本、延長 1,195.3m (2) 市道認定・廃止 私道の公道化に向けて調査及び図面の作成を行った。 (日の出町) (3) 用地図面作成 道路用地の寄附に必要な調査及び図面の作成を行った。 用地測量 8件、土地調書作成 9件、境界標設置工 5件 (4) 地籍調査 街区境界確定のための調査等を行った。(南吹田) 面積 2.7ha		決算額 (千円)	79,495	68,602	113,433	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	93.8	97.4	98.8	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		道路の寄附、帰属、所管換え等に伴い、 調査及び図面の作成を行い、道路法に基 づく道路台帳を調製、保管する施策の基 礎的事業である。 施策の円滑な推進のため、適切な台帳の 調製に努めるとともに、資料の電子化を 推進し、業務効率化を図る必要がある。			継続	
					市道の適切な資産管理 に必要な業務であり、 予算を確保して実施し ていく。	

2	所管室課	道路室	事業名	道路管理事業		
事業概要 道路管理、路線道路補修、路側帯安全対策、不法投棄回収、すいた里親道路制度						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 道路管理 市管理の道路施設の保守点検、清掃等を実施し適切な維持を行っ た。 (2) 路線道路補修 市管理の道路施設の劣化や破損している箇所の補修及び小規模改良 工事を行った。 令和5年度：舗装打換え面積（舗装補修工事） 9704.0㎡ (3) 路側帯安全対策 路側帯の安全対策整備工事を行った。 令和5年度：路側帯安全対策工事 施工面積 962.4㎡ (4) 不法投棄回収 市道上の不法投棄物を速やかに回収、処分し交通の確保に努めた。 (5) 緑あふれる未来サポーター 里親道路維持管理活動への支援を行い、道路美化の推進を図った。		決算額 (千円)	419,859	457,758	507,407	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	98.1	98.2	98.4	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		道路は人や物の移動のためのほか、ライ フラインを通すための空間の提供や災害 時の避難路など、様々な役割を担う重要 な社会インフラであり、そのような道路 の適切な維持管理は、市民生活や経済活 動にも直結した最も重要な業務である。 しかし、道路の老朽化や管理対象施設の 増加に加え、ニュータウン開発時に築造 された道路構造物の更新時期を迎えてい ることから、費用の増加が見込まれる。			継続	
					道路を良好な状態に保 つよう今後も経常的な 実施が必要である。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

3	所管室課	道路室	事業名	道路ストック総点検事業			
事業概要							
道路ストック点検							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1) 道路施設定期点検業務 市管理の橋梁63橋の点検を実施した。 (2) 道路ストック点検業務 市管理の街路灯1594箇所の点検を実施した。 (3) 路面下空洞調査 市管理道路において路面下空洞調査を23.0km実施した。		決算額(千円)	56,338	70,191	78,566	※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	70.5	70.8	86.1	今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		平成26年の道路法施行規則改正により、橋梁等は5年に1回の頻度で近接目視による点検が義務付けられている。老朽化に伴う第三者被害の発生を未然に防止することが安心安全の都市づくりにつながる。点検を義務付けられていない道路構造物においても定期的な点検を実施している。コスト縮減を図りつつ、膨大な道路ストックを効率的に維持管理する必要がある。			
						今後も定期的な道路ストックの点検により、道路の維持管理に努める。	

4	所管室課	道路室	事業名	道路新設改良事業			
事業概要							
道路新設改良、交通バリアフリー道路特定、路線道路舗装、私道舗装助成、自転車通行空間整備、狭小幅員整備							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1) 道路新設改良 令和5年度は、穂波芳野線、豊津町12号線ほか7路線の改良工事を行った。 (2) 交通バリアフリー道路特定 令和5年度は、江坂町56号線においてバリアフリー化工事を行った。 (3) 路線道路舗装 令和5年度は、南吹田67号線ほか8路線において、舗装工事を行った。 (4) 私道舗装助成事業 令和5年度は、助成申請がなかった。 (5) 自転車通行空間整備 令和5年度は、朝日町内本町線ほか8路線で整備工事を行った。 (6) 狭小幅員整備 寄附を受けた道路用地に排水施設や舗装の整備を行った。 令和5年度は、道路拡幅工事が20件であった。		決算額(千円)	510,353	923,710	677,781	※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	25.4	38.8	31.7	今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		社会基盤施設である道路のサービス水準を高めることは必要不可欠であり、特に、快適な移動空間を整備することは、移動時間の短縮や移動の安全性を図ることができ、市民生活の向上につながる。ことから、今後も引き続き、事業を実施していく必要がある。 交通バリアフリーについては、生活関連経路等のバリアフリー化の目標年度を令和5年度末としていたが、整備率は91.9%だった。大阪府の事業や開発事業の影響で完成年度が未定の路線があるが、それ以外については令和6年度で完成する予定。			
						引き続き、交通バリアフリー、道路舗装等を含む道路の新設改良を実施する。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

5	所管室課	道路室	事業名	交通安全施設整備事業			
事業概要							
交通安全施設整備							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
歩行者の安全確保及び交通事故を防止するため、道路反射鏡、区画線、防護柵等の工事を実施した。 令和5年度：道路反射鏡の新設及び補修等 105件 区画線の設置及び塗り直し等 9851m 防護柵等の設置及び補修等 275m		決算額(千円)	42,703	54,064	52,428	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源の比率(%)	6.2	31.8	36.3	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		交通安全防止など、交通安全に関する意識の高まりにより、更なる交通安全施策の推進が求められている。交付金を主な財源としているが、事業量の増加を考慮すると、財源の確保が今後の課題となる。		今後の実施計画の方向性・内容	
				継続		交通安全に寄与するため、今後も継続の実施が必要である。	

6	所管室課	道路室	事業名	橋梁新設改良事業			
事業概要							
橋梁新設改良							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1) 橋梁長寿命化修繕計画(個別施設計画)に基づく活動 さんくす橋の補修工事を実施した。また、あやめ橋補修設計業務を実施した。 (2) 耐震補強計画に基づく活動 高浜橋耐震補強及び補修工事に向けて資材価格調査業務を実施した。 (3) 橋梁新設事業 三ツ辻の府道旧大阪中央環状線に歩道を整備することを目的とした新八王子橋改良工事及び家屋事後調査及び算定業務を実施した。また、藤白橋階段改修設計業務、低濃度PCB運搬処分業務を実施した。 (4) 橋梁防護柵改良事業 市管理橋梁上の防護柵において、老朽化しているものや高さ基準を満足していない防護柵の改良工事として、上市場橋、八丁橋、円山町三号橋の防護柵改良工事を実施した。 (5) その他 大阪市と負担金協定を締結している緑風橋の補修費用について、負担金の支出を行った。		決算額(千円)	55,688	166,153	195,242	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割	
		一般財源の比率(%)	50.7	28.3	24.3	□ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		令和4年吹田市橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁耐震化計画に加え、橋梁定期点検の結果に基づき、約200橋の管理橋梁の維持管理を行っている。これら計画及び点検結果を基に個別施設計画を作成し、予防保全的な老朽化対策や耐震化対策を実施している。ほかにも橋梁新設事業、橋梁防護柵改良事業、橋梁撤去・集約事業等も実施している。インフラストックの高齢化・老朽化対策は喫緊の課題であり、効率的・経済的だけでなく、持続性をもった事業推進が求められている。		今後の実施計画の方向性・内容	
				継続		今後も適切なメンテナンスによる予防保全型の維持管理に努める。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 621	施策 道路などの整備
管理事業 道路事業	所管部局 土木部

7	所管室課	道路室	事業名	街路灯管理事業			
事業概要							
街路灯管理、街路灯（防犯灯）補修							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
市民が安全かつ安心して暮らせる地域社会とするため、街路灯や防犯灯の補修、新設工事等を行った。 令和5年度：設置 123件、補修 270件、球替 91件 街路灯設置工事（その1）		決算額（千円）	140,306	115,095	85,767	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（%）	90.7	100.0	100.0	■ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		LED化により、灯具の更新までの期間は延びているが、新設要望は依然として多く、また、これまでに設置した街路灯の支柱更新など、今後も継続的な費用が必要となる。				今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	
						道路上の防犯と安心・安全に繋がる事業であり継続的な実施が必要である。	

8	所管室課	道路室	事業名	道路受託復旧事業			
事業概要							
道路受託復旧							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
舗装復旧面積 令和3年度 2,109㎡ 令和4年度 0㎡ 令和5年度 0㎡		決算額（千円）	28,080	0	0	※課題があるものは■	
		一般財源の比率（%）	44.0	0.0	0.0	■ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性		
		令和2年1月1日に吹田市道路占用工作物工事執行規則の一部改正が施行され、舗装本復旧工事を原則工事施工者が施行することになった。道路管理者として必要な場合は、市が受託して施行するが、今後、道路受託復旧事業は縮小する見込みである。				今後の実施計画の方向性・内容	
						縮小	
						原則工事施工者が施行するため、事業は縮小する見込みである。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	621	施策	道路などの整備
管理事業	道路事業	所管部局	土木部

9	所管室課	道路室	事業名	街路樹等管理事業			
事業概要							
街路樹等維持管理、草花等維持管理							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
道路環境を保全し、快適な道路空間や都市景観の形成を目的に、市が管理する街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。 令和5年度：(定期業務) 除草及び低中木剪定 16業務 高木剪定 8業務 草花植付 2業務 (不定期業務) 除草、剪定業務 69件 樹木健全度調査 竹見台地区ほか 吹田市街路樹再整備計画検討業務		決算額(千円)	279,338	283,544	335,600	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	99.2	89.5	86.4		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		豊かなみどりの環境は、吹田市のブランドの一つであり、道路環境の改善に様々な役割を果たしていることから、今後も緑の保全と育成を図る必要がある一方で、街路樹の大径木化、高齢木化が進行し維持管理費の増大につながっている。他にも、除草や剪定の年間の回数の増加を望む声があるなど、様々な要望を受けており、沿道利用者との調和を図った適正な緑の形成と維持管理を行う必要がある。			

10	所管室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路管理事業			
事業概要							
都市計画道路管理							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
令和5年度は、道路室への所管換及び所管換に必要な引継図書の作成。 ・令和5年度用地処分(所管換)実績 215.10㎡		決算額(千円)	3,132	3,731	0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		・都市計画道路整備完了後の残地について、公共用地としての活用又は売却処分の検討が必要である。 ・用地の維持管理(除草等)が必要である。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 621	施策 道路などの整備
管理事業 道路事業	所管部局 土木部

11	所管室課	地域整備推進室	事業名	都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業			
事業概要							
都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
令和5年度の主な業務 (1) 道路用地の取得に係る業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線支障物件調査業務(再算定(その1)及び追加調査(その1)) ・都市計画道路千里丘朝日が丘線支障物件調査業務(再算定(その2)及び追加調査(その2)) ・都市計画道路千里丘朝日が丘線不動産登記嘱託業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線不動産鑑定評価 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線用地補償総合技術業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線支障物件調査(その2)  (2) 道路の設計等に係る業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線電線共同溝概略設計業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線道路擁壁ほか詳細設計業務 ・都市計画道路千里丘朝日が丘線土壌汚染調査業務(その1)		決算額(千円)	53,183	38,549	41,713	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	36.0	41.8	63.2		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・事業進捗を図る上で、引き続き補償契約等を円滑に進めていく必要がある。 ・登記簿上の所有者不明土地について、所有権確定の諸手続が必要である。		今後の実施計画の方向性・内容  継続  令和9年度末の整備完了に向けた用地交渉の実施。			

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名